

水田輪作における子実用トウモロコシの収穫適期

福島県農業総合センター 作物園芸部 畑作科

1 部門名

輪作体系－飼料作物

2 担当者名

丹治克男

3 要旨

子実用トウモロコシはホールクロップサイレージに比べ収穫時期が遅くなるため、水田輪作体系に適した子実用トウモロコシの品種選定と収穫適期を検討した。水稻の刈取前に子実用トウモロコシを収穫するためには早生品種の標播（5月上旬播）が適する。また子実用トウモロコシの収穫適期は、年次・播種時期にかかわらず出芽後日数で推測できる。

(1) 収穫適期は、コンバイン収穫が可能となる子実水分 30%となる日とした(図 1)。

(2) トウモロコシ品種は「タラニス」(RM95)、「LG3490」(RM108)、「32F27」(RM126)を使用した。収穫適期は、それぞれ出芽後約 105 日、110 日、125 日である(図 2)。

(3) 試験は郡山市で、標播は5月上旬、晩播は5月下旬～6月上旬播きで行った。

(4) コンバインでの収穫にあたっては、子実水分と合わせ、茎水分の確認が必要である

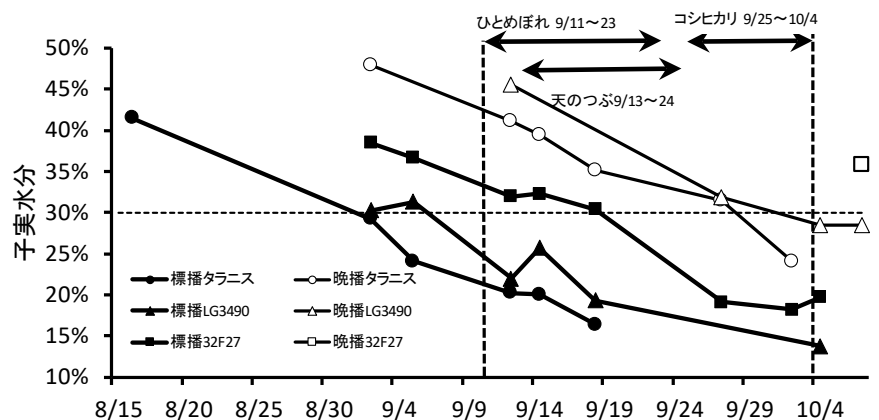


図1 トウモロコシ子実水分の推移と水稻刈取適期 (2019年)

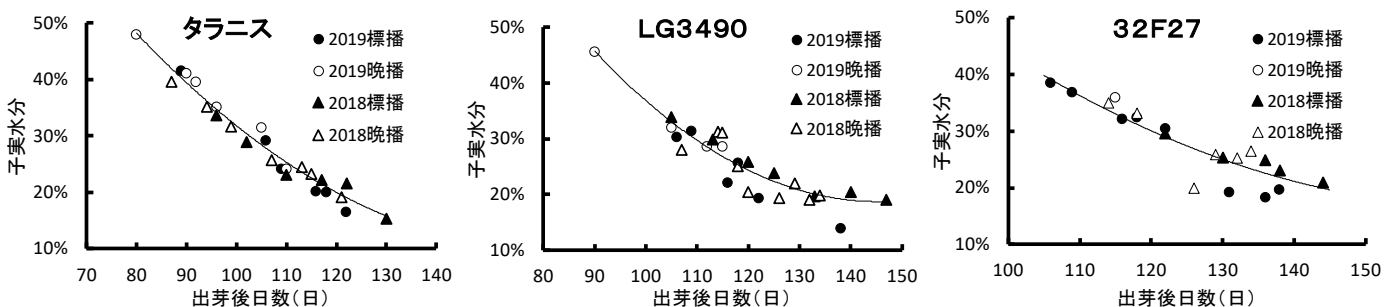


図2 子実トウモロコシの出芽後日数と子実水分

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成 30 年度～令和元年度

(2) 研究課題名 自給飼料を導入した大規模水田輪作体系による耕畜連携システムの実証研究
〔食料生産地域再生のための先端技術展開事業〕

5 主な参考文献・資料 なし